

5) 革新的技術開発・緊急展開事業(うち経営体強化プロジェクト)

5) - 1 CLT を使った構造物の施工コストを他工法並みにする技術開発【持続可能】

研究開発期間 (平成 29~31 年度)

[担当者] 成瀬友宏

本研究開発課題は、CLT を使った構造物の施工コストを他工法並みにするために、耐火構造の壁に設けるコンセントや貫通部に関する技術開発を行うことを目的としている。

本年度は、CLT を使った耐火構造壁に設けるコンセント部分の仕様について、1 時間耐火構造については建設省告示に例示されている耐火被覆、2 時間耐火構造については日本 CLT 協会で国土交通大臣の認定を取得するために検討している耐火被覆に、それぞれ 1~3 個用コンセントボックスを設けて試験を実施して性能確認を行った。その結果、1 時間耐火構造については性能を満たす仕様、2 時間耐火構造については耐火性能に課題を有することが確認できた。